

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー

藤中秀幸

GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

「経済と地域社会の発展月間」 並びに「米山月間」

10月は「経済と地域社会の発展月間」です。少子・高齢社会が急速に進展する今日、地域経済は経営者の高齢化、事業後継者の不在など大きな課題に直面しています。これらの課題は、事業の縮小や廃業、更には会社の合併や買収など地域経済の発展に影響を及ぼし、これまで培った技術やノウハウの次世代への伝承を不可能にする可能性もあり、それに伴う雇用の不安定化は人口の減少をもたらす、地域社会の衰退を招来することにもなります。帝国データバンクは、2016年「後継者問題に関する企業の実態調査」を行い、その結果を今年3月に発表しました。その調査結果によると、山口県の後継者不在率75.7%（全国で2番目）、社長が60歳代の場合の不在率67.4%、また後継者がいる場合のその後継者が子供の場合は55.1%、非同族の場合は24.3%という結果になっています。

広島県においても、後継者不在率は74.7%（全国で3番目）で全国平均66.1%を大きく上回り、60歳代の社長の64.7%が後継者不在で、後継者がいる場合のその後継者が子供の場合49.8%、非同族の場合は24.5%という結果になっています。このように山口県・広島県が2位、3位を占めていますが、経営者が

若く不在率1位となっている沖縄県を除くと、2710地区山口県・広島県が実質1位となります。この結果は大多数が事業経営者であるロータリーにとって大きな問題です。クラブ戦略計画委員会において慎重に検討していく必要があります。一方、時代の変化の先頭に立つ新たなIT産業やソフト産業等が若い世代を中心に勃興しています。職業分類を見直し、柔軟なクラブ運営を行うことにより、会員増強を図る必要があります。時代は大きく加速しながら変化しています。クラブ会員の英知を結集し、元氣なクラブ作りをしましょう。それが明るい地域社会に導いてくれると確信します。

ところで、10月は米山月間でもあり日本独自の強調月間です。「他人への思いやりと助け合い」の精神を身をもって行いつつ、そのことに多くを語らなかった陰徳の人・米山梅吉氏の功績を記念して1952年東京ロータリークラブで発足し、やがて日本の全クラブの共同事業に発展。1967年文部省の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、今日までに約2万人の奨学生を支援してきました。今年8月26日、世界18の国や地域から奨学生と学友196人、ロータリアン204人その他家族など総勢444人が熊本の地に集い、米山記念奨学会財団設立50周年を祝うと共に、今後国内外の学友、学友会が横のつながりを持つためのプラットフォームとして「世界米山学友会」が設立されました。「民間外交として世界に平和の種子を蒔く」という米山奨学事業は、着々とその成果をあげていますが、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しています。留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける大切な奉仕です。ロータリアンの皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナー月信 2017年 10月号

ガバナーメッセージ.....1	地区指導者育成セミナー報告.....5
経済と地域社会の発展月間について.....2	地区指導者育成セミナー 合同本会議報告 .. 5~6
米山月間に寄せて.....2	地区指導者育成セミナー ロータリー財団部門報告.....6
米山研修旅行報告.....3	会員増減・出席率(8月度) 特別コラム.....7
第41回インターアクト地区大会報告.....4	新会員紹介 文庫通信 (奥付).....8



経済と地域社会の発展月間について

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 松本 茂太郎

2014年10月のRIの理事会において、10月の重点分野「経済と地域社会の発展月間」が新しく作られ、2015年7月から始まりました。貧困地域の経済発展を目的とした、起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減、経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援などを強調する月間です。

世界で14億人が(その半数近くが職を持っているにもかかわらず)1日1ドル25セント以下の生活を送っています。ロータリアンは、こうした人々に生産的かつ十分な仕事の機会をつくり、経済と地域社会の発展を目指す奉仕プロジェクトを実施しています。これが、ロータリーの6つの重点分野の一つとなっています。

ロータリーは、人々が生活と地域社会の経済に、末永い発展をもたらしていけるよう支援します。

重点分野の目的と目標は

- 1、貧しい地域社会の経済発展を促すための、起業家、地域社会のリーダー、地元団体、地域社会ネットワークの能力の向上
- 2、生産性の高い仕事の機会の創出
- 3、支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減

4、経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援 等です。

受領資格の判断基準、人道的プロジェクトと職業研修チーム(VTT)を成功させるための要素(グローバル補助金)、奨学金を成功させるための要素(グローバル補助金)等があります。

【地域調査の方法】

- ・ 地元関係者を集めての座談会、事業経営者、失業中の市民、女性、若者、地元経営者など、さまざまなグループに分かれて複数の座談会を開き、地元の強みとニーズを探る。
- ・ インタビュー調査：幅広い層の人から意見を聞くことができる。
- ・ 地域社会のニーズを調べる。

プロジェクトは、物資の援助や提供でなく、人々の能力向上を図るものとすべきです。ニーズへの解決策を地元の人たちと一緒に見つけ、地元根付いたプロジェクトとすることによって、持続可能な成果が得られるようにしましょう。

そのための資金として、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を利用する事ができます。

以上の様な事を各クラブにあうように検討して、プロジェクトを展開して下さい。



米山月間に寄せて

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区米山記念奨学会委員会
カウンセラー・パストガバナー

天野 肇

前年度より引き続き地区米山記念奨学会委員会のカウンセラーを務めております。久しぶりに地区米山に関わると同時に(公財)ロータリー米山記念奨学会の理事も受けることになり、第17回、第18回の理事会へ出席致しました。第18回理事会は、8月18日静岡県駿東郡長泉町にある(公財)米山梅吉記念館で開催されました。米山記念奨学会の理事会が米山梅吉記念館で開催されたのは初めての由、私にとって2回目の記念館訪問となりました。理事会に先立ち、理事全員で「米山梅吉墓碑」を訪ね供養させて頂きました。墓碑には俳号を藍壺と称した梅吉の句「いさかひもなき漫々の青田哉」が刻まれております。

米山記念奨学会は、今年財団設立50周年、事業創設65周年を迎えるため「ロータリー米山記念奨学会50年の歩み」を発刊すると同時に財団設立50周年と本事業の成果をロータリアン、米山奨学生、米山学友と共に祝うため2018年2月4日東京お台場にて記念式典を開催致します。2017年度米山奨学生採用数は793名、2018年度は820名の採用枠が設けられました。寄附金が往年の勢いを取り戻し、2016年度は13億7,300万円に達し、基本財産50億円、正味財産期末残高約102億円と堂々たる奨学財団に成長しております。

「その中を富める貧しきへだてつつ

流るる水の浅かれとこそ」 米山梅吉詠



※本頁は奨学生より提出された原文をそのまま掲載しております。



2017-18 年度米山研修旅行報告書 留学生だからこそ、もつべき責任

テイ ジョ カイ
山口大学 程攄懷
防府北ロータリークラブ

米山梅吉記念館で米山氏の少年時代の彷徨いから留学へ決意し、そして留学経験を生かして実業者になり、力を尽くして社会に奉仕する一生を知り、感心した。米山記念奨学生を誇りとして思っている。夜、「厳しい生活を送っている日本人学生が少なくない、留学生に奨学金を寄付するのはなぜか」と、将来に国と国の架け橋になってほしいからだ」という西本委員長のお話を聞き、自分の立場を改めて考えようと思った。留学生だからこそ、この奨学金をもらえたのではないか。つまり、もらっているのはお金ではなく、異文化や違うバックグラウンドを持つ留学生に通じて、世界のつながりを深めようとする人々からの期待なのだ。日本のことを理解するのはもちろん、違う国から来ている奨学生同士と交流し、お互い文化を理解し合うことも大事だと思う。今回の研修旅行を通して、奨学生同士やロータリ

アンとの友情を深めたと同時に、米山記念奨学生としての誇り、そしてその重大な責任感を感じて、自分自身を磨き、世界の架け橋になるように努力していく。



2017-18 年度米山研修旅行報告書

テイ シ ロ
広島大学 鄭子路
東広島21ロータリークラブ

2017年8月22日の朝、私と国際ロータリー第2710地区の現役奨学生の皆さんは地区米山委員長西本守利氏など4名の地区委員の統率のもとで、静岡県の新富士駅に向かって一泊二日の研修旅行を始めました。主な目的地として、米山梅吉記念館、三島スカイウォーク、村山浅間神社を訪れました。

今回の研修旅行を通じて得たものを大まかに言えば、主に以下のような三点があります。

第一、米山梅吉記念館の訪問によって、米山梅吉という人物の詳細、日本のロータリークラブの歴史およびロータリー米山記念奨学会の歩みなどロータリーの関連事をたくさん知りました。いい勉強になりました。特に、米山梅吉氏は「文藻」、「実業」、「奉仕」という三つの顔を持つ人だと強く意識しました。今まで会ったロータリアンの皆さんはみんなこのような人物でしょう。自分もこれからそれを目標にして頑張らなければならないと思います。

第二、他の奨学生との交流を深まりました。今回の奨学生は中国、韓国、モンゴル、インドネシア、ベトナム、フィリピン、バングラデシュ、スペインなどいろいろな国からの留学生から構成しています。この二日間で、異国の皆さんと母国のことや日本での留学生活について一杯話しまして、非常に楽しくありました。さらに、学年が上の人として、晩餐会で後輩の皆さんのうまい日本語のスピーチを聞いて、大きく刺激を受けたこともあります。

第三、富士山の風景を満喫することができました。富士山は日本の代表的な名所・風景であるため、皆さんは大きく期待を持っているでしょう。自分もかつて箱根で冬の富士山を遠くから眺めたことがあります。夏の富士山を見るのははじめてです。やはり富士山を見た瞬間で、皆さんと同じようにすごく感動され、興奮しました。今回残念なことで時間の原因で富士山に近づくことができませんでしたが、これから人生一度に富士山への登山を挑戦してみたいです。

最後、今回の旅行でお世話になった地区委員の皆さんをはじめ、奨学生同士の皆さんにお礼を申し上げます。これから、地区大会での再会を楽しみにしております。





第41回インターアクト地区大会報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区インターアクト委員長 都志見 格

7月29日～30日、山口県防府市のアパホテルにて、第41回インターアクト地区大会がインターアクト133名を含む総勢184名で開催されました。高川学園高等学校インターアクトクラブがホストクラブ、防府ロータリークラブがスポンサークラブで、大会テーマは「温故知新～奉仕の心で築く未来～」でした。

まず、藤中秀幸がバナーより、「今回の講演から先人の“志”、“息吹”を感じ取り、自分のエネルギーとして下さい」とご挨拶を頂き、次いで毛利博物館顧問 小山良昌様より「毛利元就とその末裔～明治維新の主役・長州藩～」と題し講演して頂きました。



毛利家は平安初期、平城天皇の血脈を有し、鎌倉初期、遠祖・大江広元の四男季光が神奈川県の毛利荘を統治した関係で、毛利姓を名乗ることとなり、元就の時代には正親町天皇の即位式料を献納、石見銀山を天皇と将軍へ献上と、皇室への強い想いを有し、その後も皇室への忠誠は変わらず、幕末の名君、毛利敬親は唯一の皇族系大名の誇りとともに「勤王の毛利家」として尊王攘夷の先頭に立ち、錦の御旗の使用を許可されるいきさつなどをわかり易く説明して頂きました。

講演の後は、バスにて移動し、旧毛利家本邸を視察しました。大正5年完成の1200坪の豪邸は日本で4人だけの侯爵邸にふさわしく、無節松材、樺の一枚板、屋久杉、黒部杉などの貴重な建築材料を使用した他に類を見ないほど立派なもので、昭和42年開館の博物館には、雪舟筆の「四季山水図」(国宝)、元就筆「三子教訓状」(重文)、利休作の茶筌などが所蔵されていました。

次いで防府天満宮を参拝しました。約2時間の視察は酷暑の中、かなりツライものでしたが、かえって印象深く、皆の思い出になったと思います。

その後ホテルに戻り、グループワーク、高川学園のインターアクト司会の下、10のグループ分けで、他校の生徒と交わる機会を作り、講演を聞いて、文化遺産をどのように役立て、伝えていくか、また視察を終えて、文化財がどのように守られ、活用されているのか、約1時間討論してもらいました。

約5時間半経過して、ロータリアン、顧問教師抜きで夕食・生徒交歓会を開催し、親睦を深める良い機会になったのではと思います。

2日目は山口県地方史学副会長、防府天満宮総代の脇 正典様

より、「防府天満宮の歴史」について講演して頂きました。「菅原道真が亡くなった翌904年に周防国・国司土師信貞により、日本最初の天神様が防府に創られとされている。ただし、定かではなく確証がない。1172年に周防国・守護の藤原季助が現在宝物殿にある金剛宝塔を寄進されているので、以後の歴史は確からしい。道真が海路、防府入りし、滞在された縁で建立したらしいが、海路か陸路か、国司は海路、大宰司、大式は陸路とされた時代に海路は怪しい。道真が紀長谷雄に送った漢詩集「菅家後草」で陸路の景観が伺えた。数ヶ月滞在した、罪人では考えにくい、だが人望があったから遺留された。一夜の滞在では天満宮建立までの縁が考えにくい。防府の人々が道真に好意をよせていたのは確かと考えたい」などの内容で、歴史研究の難しさが十二分に感じられる講演でした。

最後に生徒による全体会でグループワークの結果発表があり、文化遺産の運用では今回の毛利家の先見性を参考に正しい歴史を勉強し、知ることが大切であるとし、文化財の活用では地域の人々と共に大切にすることが大事であると報告がありました。難しいテーマで、発表を楽しみに拝聴しましたが、地域を支援するインターアクトの奉仕姿勢のために地域の歴史を正しく学び、優しい気持ちで接することが大事であると皆には理解出来たと感じました。その後、広島、山口での指導者研究会と韓国研修旅行の活動報告がされ閉会しました。

大会運営にご尽力いただいた高川学園高等学校の皆様、防府ロータリークラブの皆様方へ、心より感謝の意を表したいと思います。有難うございました。





地区指導者育成セミナー報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安本 政人

厳しい暑さの中、8月27日(日)13時よりホテルグランヴィア広島において、2017-18年度地区指導者育成セミナーが、クラブ活性化部門193名、ロータリー財団部門93名の参加のもと開催されました。

クラブ活性化部門では藤中ガバナーの開会の挨拶に始まり、地区会員増強委員会カウンセラー西村栄時パストガバナーより「クラブの活性化を目指して！～更に輝きを増すために～」の演題で講演頂きました。その後、徳山ロータリーアクトクラブ板邊裕利直前会長より「ロータリーアクトの活動と展望」について実情を話して頂きました。最後に、第2700地区安増惇夫ガバナーより「世界に羽ばたけ米山奨学生」のテーマで講演頂きました。

ロータリー財団部門では地区ロータリー財団伊賀訓之委員長の挨拶に始まり、「地区ロータリー財団現況報告」「地区補助金について」「グローバル補助金について」「奨学金について」それぞれ担当者より説明がありました。最後に、財団監査委員会カウンセラー松本茂太郎パストガバナー・財団委員会カウンセラー田村泰三パストガバナーより講評を頂きました。

10分間の休憩後15時より合同本会議に移りました。基調講演として地区戦略計画委員会委員長大之木精二パストガバナーが「ロータリー戦略計画の理解と促進の為に」の演題で講演されました。論点は 1.戦略計画とは何か 2.柔軟性と戦略計画 3.ロータリーの行く末でした。

パネルディスカッションは、クラブアンケートの結果を受け「クラブ運営の柔軟性について」のテーマで、地区会員増強安田年光委員長をモデレーターとして進行了しました。パネリストとして、西村・大之木両パストガバナー、防府北RC古松孝蔵会長、岩国RC上田文雄直前会長、尾道RC木曾昭彦会長に登壇頂きました。まとめとして地区研修リーダー沖田哲義パストガバナーよりご指導頂き、最後にガバナーより謝辞を頂き閉会しました。

会場を移動し、ビアパーティに入りセミナーの疲れを癒し、和気藹々と親睦の輪を深めながら楽しい時間を過ごし、次への意欲を湧かすことができました。



地区指導者育成セミナー 合同本会議報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区会員増強委員長 安田 年光

今年度の地区指導者育成セミナーはこれまでと模様を変えて「クラブ活性化部門」と「ロータリー財団部門」の分科会の後に、合同本会議が行われました。

基調講演は『ロータリー戦略計画の理解と促進の為に』を演題として地区戦略計画委員会委員長の大之木精二PGがされました。

「緒言」として、クラブ戦略計画が導入されて何年も経っているにもかかわらず、進んでいないのは何故か。その原因は何か。現状を是認しその維持から抜け切れていない。「論点」として『戦略計画とは何か』『柔軟性と戦略計画』『ロータリーの行く末』を上げられ講演を進められました。故佐藤千寿PG(東京東RC)による3つの推論を説明され、ロータリーの行く末を危惧されていました。

パネルディスカッションのテーマは『クラブ運営の柔軟性』でした。4月に開催された地区研修・協議会の会員増強部門で、2016規定審議会で決定されたクラブ運営の柔軟性について



説明し、その後アンケートを実施した結果に基づき行われました。

パネリストは地区会員増強委員会カウンセラーの西村栄時PG、大之木精二PG、防府北RC古松孝蔵会長、岩国RC



2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

上田文雄直前会長、尾道RC木曾昭彦会長にご登壇いただき、モデレーターは私が務めました。3つのクラブは柔軟性によりクラブ運営を変更された事例を挙げて説明くださいました。こちらから会場にも指名し、福山ロータリーEクラブ2710にはweb上の例会運営とメーキャップの仕方、萩東RCには例会月2回と祝祭日が重なった場合の対応、福山東RCには名誉会員について、瀬戸田RCには少数会員での現状、府中RC

には衛星クラブ設立について、それぞれお聞きました。

柔軟性の功罪はこれから検証する必要がありますが、ロータリーの本質は何か、他クラブへの例会開催案内とメーキャップ対応をどうするか、柔軟性で変えていいものと変えてはいけないものを、西村栄時PGと大之本精二PGの講演資料、アンケート結果を参考に、各クラブで情報集会などを利用して今後も討議していただきたいと思います。



地区指導者育成セミナー ロータリー財団部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員長 伊賀 訓之

2017-18年度地区指導者育成セミナーR財団部門は、松本茂太郎地区R財団監査委員会カウンセラー・田村泰三地区R財団委員会カウンセラー、地区関係者18名、地区内クラブ73名、計93名の参加で、森本R財団監査委員の司会により開始しました。

最初にR財団委員長・伊賀よりご挨拶を申し上げ、続いて八百谷R財団監査委員より2016-17年度総括、2017-18年度目標等についての現況を報告しました。

次に三吉R財団委員より地区補助金の概要、シェアシステム、申請の流れ、授与と受諾の条件、第2710地区の指針、実施に際しての管理・報告等についての説明をしました。

続いて山本R財団委員よりグローバル補助金について、6つの重点分野に該当するプロジェクトであること、活動資金はDDF(地区財団活動資金)とWF(国際財団活動資金)の両

方から受けることができるが、細かい支給要件があること、持続可能なプロジェクトとするための方法論、申請準備から最終報告までの注意点等について説明をしました。

引き続き、松本R財団委員より地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生の選考、手続き、現奨学生の状況について報告をし、古澤地区R財団委員からは国連事務次長の中満泉さん(第2780地区学友)がシンポジストとして参加された日本ロータリー学友会主催のR財団100周年記念シンポジウム(2016年11月東京開催)及び当地区学友の近況等の報告をしました。

最後に松本茂太郎R財団監査委員会カウンセラー、田村泰三R財団委員会カウンセラーよりご講評をいただき、R財団部門を終了いたしました。

ロータリーの架け橋、岩国から。

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会 in 岩国

【開催期間】2017.10/ **27 Fri** **28 Sat** **29 Sun**

国際ロータリー第2710地区 2017-18年度方ハナ
藤中 秀幸

1日目 10月27日[金] 和木ゴルフ倶楽部 ●記念ゴルフ大会	2日目 10月28日[土] 岩国国際観光ホテル ●RI会長代理ご夫妻歓迎昼食会 ●会長幹事会 ●基調講演 ●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ●日韓交流大会	3日目 10月29日[日] シンフォニア岩国 (原戦会のみ岩国国際観光ホテル) ●本会議(午前の部) ●昼食会 ●記念講演 ●本会議(午後の部) ●懇親会
--	---	--

地区大会事務局 〒741-0062 岩国市岩国1丁目1-7 岩国国際観光ホテル内 TEL: (0827) 43-2270 FAX: (0827) 43-2948 E-mail: iwakuni.c-rc@waltz.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2017年8月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	92.98	25	25	4	1	1
	下関	82.83	49	51	1	2	0
	下関中央	85.25	31	31	6	0	0
	下関東	79.06	54	55	2	1	0
	下関北	90.44	43	41	0	0	2
	下関西	83.57	35	35	1	0	0
	計	85.69	237	238	14	4	3
2	萩	96.30	57	56	0	2	3
	萩東	98.81	22	22	1	0	0
	美祢	80.50	24	25	0	1	0
	小野田	78.11	35	36	2	1	0
	宇部	95.93	46	46	3	0	0
	宇部東	74.20	14	14	1	0	0
	宇部西	91.14	53	52	3	1	2
	計	87.86	251	251	10	5	5
3	防府	92.53	54	57	0	3	0
	防府北	85.84	17	20	1	3	0
	防府南	87.39	37	37	7	0	0
	山口	87.79	50	54	4	4	0
	山口県央	94.33	30	32	1	2	0
	山口南	86.70	41	41	4	1	1
	計	89.10	229	241	17	13	1
4	光	97.10	44	51	0	7	0
	周南西	84.17	55	54	4	0	1
	徳山	95.41	46	50	1	4	0
	徳山セントラル	94.95	24	26	0	2	0
	徳山東	92.51	51	52	0	1	0
	計	92.83	220	233	5	14	1

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
5	岩国	84.27	60	63	0	4	1
	岩国中央	90.29	44	44	3	0	0
	岩国西	89.83	59	60	4	1	0
	柳井	100.00	33	33	2	0	0
	柳井西	96.38	24	26	2	2	0
	計	92.15	220	226	11	7	1
6	広島	99.45	115	122	1	8	1
	広島安芸	96.58	39	41	2	2	0
	広島安佐	82.23	25	22	2	0	3
	広島東	98.45	95	102	7	7	0
	広島北	100.00	92	96	0	4	0
	広島陵北	99.76	51	52	3	2	1
7	大竹	89.55	32	33	0	2	1
	計	95.15	449	468	15	25	6
8	広島中央	100.00	78	79	7	3	2
	広島廿日市	95.96	33	33	1	0	0
	広島城南	98.87	44	44	3	1	1
	広島南	99.31	88	89	0	1	0
	広島東南	100.00	100	99	13	2	3
	広島西南	100.00	62	64	3	2	0
9	広島西	100.00	81	81	0	0	0
	計	99.16	486	489	27	9	6
10	江田島	88.89	18	17	0	0	1
	東広島	99.43	33	35	2	2	0
	東広島21	84.20	18	17	4	0	1
	呉	93.06	65	68	0	3	0
	呉東	93.21	32	32	0	0	0
	呉南	88.90	59	60	3	1	0
11	西条	99.34	38	38	3	0	0
	計	92.43	263	267	12	6	2
12	吉舎	96.73	18	17	0	0	1
	三次	86.83	39	41	0	2	0
	三次中央	95.63	44	44	5	0	0
	庄原	88.47	33	34	4	1	0
	東城	95.30	19	19	1	0	0
	計	92.59	153	155	10	3	1
第2710地区計		91.19	3251	3321	157	102	32

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
9	広島空港	83.27	27	27	3	0	0
	因島	92.77	18	19	0	1	0
	三原	93.06	60	60	0	1	1
	尾道	82.89	78	81	2	3	0
	尾道東	92.00	53	53	4	1	1
	瀬戸田	80.00	5	5	0	0	0
	竹原	95.52	32	32	4	0	0
	計	88.50	273	277	13	6	2
10	府中	84.50	26	26	0	0	0
	福山	94.57	81	78	0	0	3
	福山東	95.05	48	48	2	0	0
	福山丸之内	96.50	31	32	1	1	0
	鞆の浦	88.27	23	23	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	21	22	4	1	0
	計	93.15	230	229	7	2	3
11	福山赤坂	78.63	48	50	7	2	0
	福山北	91.63	42	43	0	1	0
	福山南	86.58	57	60	2	3	0
	福山西	97.87	40	41	4	1	0
	松永	90.03	53	53	3	1	1
	計	88.95	240	247	16	8	1
12	吉舎	96.73	18	17	0	0	1
	三次	86.83	39	41	0	2	0
	三次中央	95.63	44	44	5	0	0
	庄原	88.47	33	34	4	1	0
	東城	95.30	19	19	1	0	0
	計	92.59	153	155	10	3	1
	第2710地区計	91.19	3251	3321	157	102	32

※正式名称「福山ロータリーEクラブ 2710」

特別コラム 日本のロータリー誕生とわが地区史④

国際ロータリー第2710地区バスターガバナー 西村 栄時

大震災が奉仕活動の切っ掛け!?

大阪ロータリークラブが誕生した翌1923年(大正12年)の9月1日白昼、未曾有の大地震が首都圏を襲った。関東大震災である。『東京全滅』のニュースが海外に伝わるや、間髪を入れず世界各国のロータリークラブから見舞金や救援物資が殺到した。そのときのRI会長は、シェルドンと初期ロータリーの理論家の双壁『ロータリー通解』を著したガイ・ガンディガーで、直ちに見舞い電報とともにRI予備費から25,000ドルを、東京が壊滅状態のため大阪クラブを窓口に通金した。更に米・英・カナダなど17ヶ国503クラブから義捐金の総額は89,800ドルに達し、思いがけない海外からの友情の厚さに東京クラブ会員は驚くとともに、ロータリーの力と存在の大きさを見直し認識を改めた。

海外からの支援に誘発された東京ロータリークラブは、大震災で生じた多くの孤児たちのため東京市孤児院内に『ロータリーの家』を新築寄贈、東京・横浜の消失小学校188校への備品贈呈、産科医療病院への寄付、殉職警察官遺族への援助など罹災者に対し救援奉仕活動を大々的に行った。東京クラブが行ったさまざまな奉仕事業は、創立以来初めての社会奉仕活動であった。

救援活動を通じクラブ運営も一新し、東京クラブの例会は月1回から毎週水曜日に開催することになった。会員は改めてロータリー

の存在を高く評価し、会員であることを自覚するとともに自らのロータリー活動に目覚めたと伝えられている。震災という不幸な出来事がロータリー運動の飛躍的發展に繋がったことは皮肉であった。(1923年6月、ロータリーマークの菌車に楔穴が入る)

躍進し始めた日本のロータリー

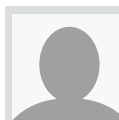
関東大震災で果たしたロータリーの救援事業を伝え聞いたことも影響し、他都市でロータリー設立の希望が高まっていた。わが国の気運を察知したRIは1924年(大正13年)、米山梅吉をクラブ設立の代表員としてSpecial Commissionerに任命。スペシャルコミッショナーは、地区のない地域のガバナーに代わる役で、RI本部に代わりクラブの設立などの任務を負っていた。

1925年5月、ホノルルで第1回太平洋ロータリー大会開催。設立以来無地区であったが1926年(昭和元年)7月、米山はデンバー国際大会においてアジア初の国際ロータリー理事に選出される。(1926年、奉仕の分類が四大奉仕、クラブ・社会・職業・国際となる)

東京クラブは1927年(昭和2年)4月、例会場を東京会館に移し、会員数も100名となる。10月、東京で初めて都市連合会(現在のIM)を開催した。

(敬称略)

新会員紹介

 林 克彦 長門RC 2017年8月22日 地方銀行	 永田 充 下関中央RC 2017年5月12日 弁護士	 網本 有二 下関東RC 2017年9月7日 電気工事業	 内山 哲男 小野田RC 2017年8月2日 信用組合	 赤瀬 由幸 宇部西RC 2017年8月29日 総合証券	 山下 剛史 山口RC 2017年8月2日 電気通信事業	 岡崎 悟 山口RC 2017年8月9日 量販店	 佐伯 正浩 山口RC 2017年8月23日 電気事業	 関口 文規 山口RC 2017年8月23日 民間放送
 森岡 隆文 山口南RC 2017年8月18日 金融	 三時 行雄 光RC 2017年8月7日 造園業	 山本 益輝 光RC 2017年8月7日 看板広告業	 吉金 豊治 光RC 2017年8月7日 商業銀行	 菰下 孝 徳山RC 2017年8月10日 電気事業	 大崎 勇一 徳山セントラルRC 2017年7月31日 内航海運	 藏田 聡 徳山セントラルRC 2017年8月21日 歯科医	 有若 和昭 広島東RC 2017年8月2日 電気通信事業	 古谷 英明 広島北RC 2017年8月3日 自動車小売
 池上 隆三 広島北RC 2017年8月3日 総合建設	 丸子 潤一郎 広島北RC 2017年8月10日 建設資材販売	 菊地 隆 広島北RC 2017年8月31日 損害保険	 貞徳 伸治 広島陵北RC 2017年8月2日 損害保険代理業	 高橋 竜也 広島陵北RC 2017年8月2日 管工事業	 上野 貴史 大竹RC 2017年8月22日 有機化学製品製造	 安藤 徹哉 広島中央RC 2017年7月10日 機械器具配布	 和田 賢治 広島中央RC 2017年8月21日 総合建設業	 加島 文斎 広島城南RC 2017年9月1日 トレーナー
 山本 和之 広島東南RC 2017年8月7日 シティホテル経営	 遠藤 幹 呉南RC 2017年8月8日 青果物仲卸業	 中本 喜美子 尾道東RC 2017年7月4日 保育園	 漢人 哲夫 福山南RC 2017年8月17日 化学品製造	 上田 郁幸 三次RC 2017年8月24日 建設業	 中谷 司 三次RC 2017年8月24日 食品製造業	 新会員名 所属RC 入会日 職業分類		



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

「職業奉仕とロータリーの魅力」	大迫 三郎	2016	30p	D.2730
「ロータリーの根幹は『ロータリーの目的』が規定する職業奉仕である」		2017	90p	D.2760
「ロータリーって何だろうクラブ奉仕を中心に」	松山R.C.	2012	73p	
「新会員推薦の手引き」	大阪R.C.	2013	9・23p	
「ロータリーのしおり」	明石西R.C.	2014	22p	
「シェルドンなきロータリー」(シェルドンの森を巡る旅)	田中 毅 源流の会	2017	6p	
「ロータリーの正義(Ⅲ)」	田淵水作夫	2017	55p	
「ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ」	ロータリー米山記念奨学会	2017	127p	ロータリー米山記念奨学会 TEL (03)3434-8681
「ロータリー情報ハンドブック(改訂第2版)」	ロータリー情報研究会	2017	821p	ロータリー情報研究会 FAX (050)3730-5737

[上記申込先]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:<http://ri2710.com/>